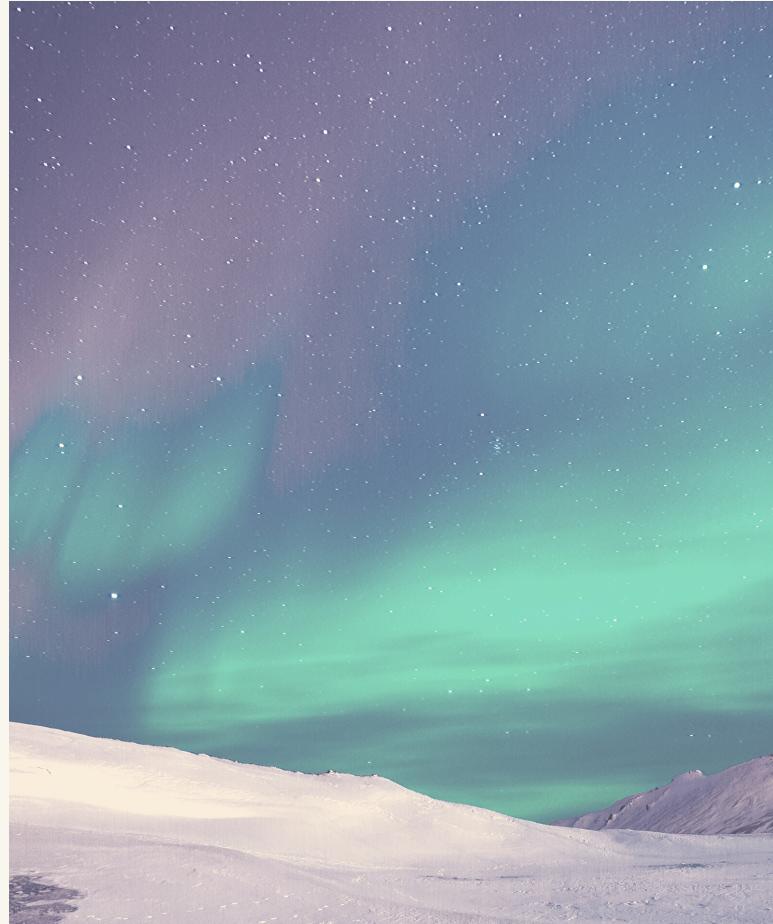


OAK WIND SYMPHONY



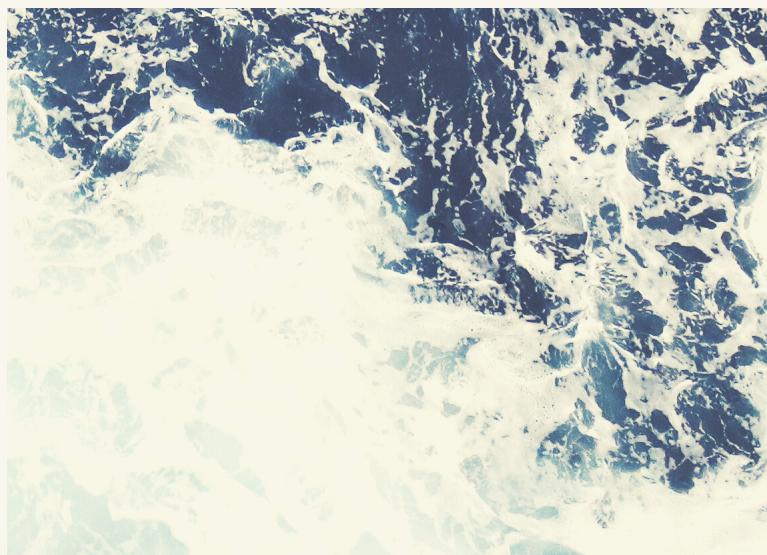
38TH REGULAR CONCERT

鎌倉芸術館 大ホール

2020/1/5 SUN

14:30 OPEN

15:00 START





ごあいさつ

Oak Wind Symphony
団長 竹内 連

新年明けましておめでとうございます。本日は、年始のお忙しい中にもかかわらず、私どもの演奏会にお越しいただき、誠にありがとうございます。

私どもOak Wind Symphonyは、前身である柏陽高校吹奏楽部OBバンドでの約18年の活動後、2000年8月に一般バンドとして誕生し、今年でいよいよ20年目を迎えます。年2回の定期演奏会のほか、毎年夏の吹奏楽コンクールにおいては、これまでに神奈川県代表として東関東大会に通算9回出場という実績を残してきました。近年では、横浜市内の小学校の鑑賞会でもステージを持たせていただいております。このように長く安定的に活動できますのも、ひとえに皆様の温かいご支援の賜物と団員一同心より感謝いたしております。

本日の演奏会は全3部構成となっており、第1部は吹奏楽オリジナル曲ステージ、第2部はビッグバンドステージ、第3部はポップスステージと、ステージごとに趣向を変えております。各ステージでジャンルは異なりますが、どのステージにも皆様に耳馴染みのある曲を取り入れておりますので、ぜひ最初から最後まで存分にお楽しみいただければと存じます。

最後になりましたが、日頃より熱心にご指導いただいている榮村正吾先生、本日の演奏会に後援いただいている鎌倉市、そして会場にご来場の皆様に、心より厚く御礼申し上げます。



常任指揮者

榮村正吾

1991年東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。

在学中に安宅賞受賞、東京文化会館新人音楽会に出演。シェナ・ウインド・オーケストラのサクソフォーン奏者として1年間活躍。卒業後アサヒビール芸術文化財団の助成金を受け渡仏。フランス国立セルジー・ポントワース音楽院高等科に入学。1992年、パリ国際コンクール第2位受賞。同年同音楽院を首席で卒業、1993年、レオポルド・ベラン・コンクールにおいて第1位および大賞受賞。同年同音楽院演奏科を修了。

フランスをはじめ、ベルギー、イタリア、デンマーク等ヨーロッパ各国において演奏会、音楽祭に出演、好評を博す。帰国後東京文化会館において第1回リサイタルを開催。NHK-FM土曜リサイタルに出演。第10回ワールドサクソフォーンコングレス(イタリア)、同第11回(スペイン)にそれぞれ参加。

サクソフォーンを佐藤典夫、大室勇一、富岡和男、須川展也、ジャン=イブ・フルモーの各氏に師事。

現在、シェナ・ウインド・オーケストラ サクソフォーン奏者、昭和音楽大学講師など幅広く、精力的に活動している。

第 1 部

北のオーロラ

ロッサーノ・ガランテ

日本民謡による幻想曲 -「砂山」の主題による

サミュエル・ヘイゾ

パリのスケッチ

マーティン・エレビー

I サン・ジェルマン・デ・プレ

II ピガール

III ペール・ラシェーズ

IV レ・アル

第 2 部

BIG BAND STAGE

第 3 部

スーパーカリフラジリスティックエクスピアリドーシャス

ロバート・シャーマン
arr. 星出 尚志

となりのトトロ～コンサート・バンドのためのセレクション

久石 譲
arr. 後藤 洋

愛の讃歌

マルグリット・モノ
arr. 星出 尚志

ど演歌えきすぶれす

arr. 杉浦 邦弘

第 1 部

北のオーロラ

ロッサーノ・ガランテ

作曲者のロッサーノ・ガランテは、1967年ニューヨークに生まれました。氏の吹奏楽作品が日本で演奏される機会はあまり多くありませんが、大学卒業後アカデミー賞受賞作曲家であるジェリー・ゴールドスミスに師事しており、これまでたくさんの映画音楽の作曲やオーケストレーションを担当しています。

オーロラとは、地球の極地でみられる「発光現象」の事です。未だ解明されていない点もありますが、太陽から地球へ運ばれたプラズマ粒子が大気に含まれる酸素原子や窒素分子と衝突した際、これらが発光してオーロラが生まれると言われています。

この「北のオーロラ」はそんな自然の雄大さを氏らしいドラマチックな手法で描いた、演奏会のオープニングにふさわしい重厚で華やかな作品となっています。ぜひ、当団の演奏を機に他の作品もお聴きになってみてはいかがでしょうか？

(Euphonium 松谷俊介)

日本民謡による幻想曲－「砂山」の主題による サミュエル・ヘイゾ

アメリカの作曲家サミュエル・ヘイゾが1997年に作曲した曲で、北原白秋作詞、中山晋平作曲の童謡「砂山」を主題としている。

ヘイゾ曰く、「この曲は、子供の頃に両親から「砂山」のオルゴールを与えられた一人の少女の物語である。少女はその後アメリカ人と恋に落ち渡米したが、彼女の心には日本への想いが残っていた。しかし帰ることは出来ない。彼女に唯一できることは、両親からもらったオルゴールを開く事だけだった…」とまで考えた、ヘイゾの妄想半端ない。

砂浜にオルゴールが流れるかのような冒頭から壮大なイントロ、あたたかくもどこか寂げな砂山の主題へ続く聴きごたえのある曲です。

〈砂山〉

海は荒海 向こうは佐渡よ
すずめ啼け啼け もう日は暮れた
みんな呼べ呼べ お星さま出たぞ

(Alto Saxophone／長島央和)

パリのスケッチ

マーティン・エレビー

「パリと聞いて思い出すものは？」と問われたら、みなさんはどのように答えるでしょうか。エッフェル塔や凱旋門などの有名な観光スポットでしょうか。あるいはファッショナブルな街でしょうか。「花の都」あるいは「芸術の都」と呼ばれ、とにかく華やかなイメージが先行する街ですが、パリの魅力はそれだけにとどまるものではありません。例えば何気ない通りにある普通のカフェ、例えば通りを歩く人々、はたまたちょっとした広場で催されているマルシェなどなど。つまりパリの街の日常そのものが、多くの人を惹きつけてやまない魅力なのではないでしょうか。

そんなパリの街への「捧げ物」として作曲されたのが「パリのスケッチ」です。パリの街から対照的な4つの場所を選び取り、組曲としたこの作品は、パリの街の様々な魅力を描き出しています。また各楽章では、かつてパリで活躍した作曲家たちへのオマージュとして、彼らの作品を引用したり、作風を取り入れたりしています。

さらにパリを象徴する響きとして、各楽章を通して「ベル（鐘）の音」が繰り返し用いられているのも大きな特徴となっています。

1 サン・ジェルマン・デ・プレ

パリの中心を流れるセーヌ川の中にあるのが、ノートルダム寺院でも有名なシテ島、そのシテ島の南側からすぐの場所にあるのが、サン・ジェルマン・デ・プレ教会です。パリに現存する最古の教会であるこの教会を擁するこのエリアは、現在ではおしゃれなカフェも立ち並ぶパリの中心地の一つです。

朝もやの中、遠くから聞こえる教会の鐘に導かれて、街は少しづつ目を覚まし、人々は活動を始めます。この朝の風景の描写は、フランスを代表する作曲家であるモーリス・ラヴェルを思い起こすことによって、成り立っています。

2 ピガール

セーヌ川の右岸、芸術家が集うモンマルトルの丘から少し下った場所にあるのが、ピガール広場です。有名な「ムーランルージュ」などのキャバレーやナイトクラブが軒を連ねるパリ最大の歓楽街、いわゆる「夜の街」です。

小気味よいテンポで始まるこの楽章では、様々なエピソードが次々と繰り広げられていき、目まぐるしく展開していきます。20世紀の初頭、ここパリで活躍したストラヴィンスキーやプロコフィエフのバレエ音楽が思い起こされます。またこの楽章では、ベルの音は車の警笛や警官のサイレンとなって現れてきます。

3 ペール・ラシェーズ

パリ市内最大の墓地であるペール・ラシェーズは、セーヌ川右岸の郊外にあります。ロッシーニ、ショパン、ビゼーなどの著名な作曲家も眠るこの墓地は、静かさを湛える一方で、観光客が訪れる観光スポットの一つでもあります。

スコアの冒頭に「ジムノペディのように」と書かれているとおり、ピアノ曲「ジムノペディ」の作曲者である、エリック・サティへのオマージュとなっているこの楽章は、ゆっくりとした3拍子に導かれて物悲しいメロディが続きます。曲の最後には、死を象徴するメロディとしてしばしば使われる、グレゴリオ聖歌の中の「怒りの日」のモチーフがベル（グロッケンやチャイム）で奏でられ、墓地の雰囲気を一層引き立てます。

4 レ・アル

セーヌ川のほとりに建つルーヴル美術館からほど近いレ・アルは、古くからパリの中央市場があった場所です。現在も大きなショッピングセンターが賑わいをみせ、あらゆる人種からなる様々な年齢層の人々が訪れる、活気あふれる地域です。

曲は爆発するような祝福の鐘とファンファーレに始まり、喜びに満ちたモチーフが次々と展開されていきます。その後、盛り上がりが最高潮に満ちたところで突然テンポを落とし、ベルリオーズの「テ・デウム」から引用されたテーマが演奏されます。（「テ・デウム」は、この地区にある教会で初演された宗教曲です。）

打楽器のソロから再び活気を取り戻した曲は、これまでの楽章を振り返りながら、最後は鐘が高らかに鳴らされ、堂々と締めくくります。

(Percussion／志水栄雄)



Friend like me

2019年に実写版が公開され、大きな話題となったミュージカル映画「アラジン」。この曲の他にも「ホールニューワールド」や「アリ王子のお通り」など、多くの人気曲が存在しています。

アグラバーの街で貧しい暮らしを送る物語の主人公アラジンは、洞窟に眠る魔法のランプをとってくるよう命じられます。この曲はランプから現れた魔人のジーニーによって歌われます。今回はほぼ原曲そのままの雰囲気でお送りします。みなさんはウィル・スミスの実写版と、ディズニーのアニメ版、どちらをイメージされますでしょうか？

When you wish upon a star

日本では「星に願いを」で知られるこの曲は、ディズニー映画「ピノキオ」の劇中歌で、作品の中ではコオロギのジミニー・クリケットによって歌われ、「小さな世界」や「ミッキー・マウス・マーチ」とならんでディズニーを代表する曲となっています。今回はジャズピアニスト前田憲男のアレンジでお届けします。

Second chances

ゴードン・グッドワインが率いる「Big Phat Band」のアルバム、「Swingin' For the Fences」からの一曲。ゴードンはプレイヤーとしてピアノやサックスを演奏しつつ、作編曲家としても活躍し、近年のビッグバンドジャズ界でヒット曲を生み続けています。ソプラノ・サックスをフィーチャーした「Second chances」では、サックス・セクションがフルートやクラリネットに、トランペット・セクションもフリューゲルホルンに持ち替えるなど、音色にこだわったアレンジがされています。豊かで甘美なサウンドをお楽しみください。

Nutville

「バディ・リッチの最高傑作」とも評されるアルバム「The Roar Of '74」より、激しいビッグバンドサウンドで取り上げられたこの曲。

スーパードラマーのバディ・リッチは、一歳でドラムスティックをにぎったと言われています。また彼は、ドラムの楽譜が読めないながらも、神がかったテクニックとリズム感で、アメリカにおけるビッグバンドジャズの新境地を切り開いたと言われています。ビッグバンドの迫力のサウンドをお楽しみください。

(Trumpet／木村正宏)

MEMBERS

Saxophone

小野 剛司 (Soprano & Alto Saxophone)
井上 宏美 (Alto Saxophone & Flute)
長島 央和 (Alto Saxophone & Clarinet)
櫻井 秋来 (Tenor Saxophone & Flute)
西野 笑弥 (Tenor Saxophone)
河合 由葵 (Baritone Saxophone)

Trumpet

阿部 泰子 (Trumpet & Flugelhorn)
木村 正宏 (Trumpet & Flugelhorn)
貞松 正樹 (Trumpet & Flugelhorn)
佐藤 容子 (Trumpet & Flugelhorn)
藤田 哲朗 (Trumpet & Flugelhorn)

Trombone

石田 晶 (Tenor Trombone)
高渕 良介 (Tenor Trombone)
鈴木 彩織 (Tenor Trombone)
石毛 遥 (Bass Trombone)

Rhythm

小石由紀子 (Piano)
池見 浩 (Drums)
鵜飼 大 (Percussion)
志水 栄雄 (Percussion)
田中 晴菜 (Percussion)
田中 祐一 (Percussion)
笠井 徹也 (Bass)

MC

金重 陽平

第 3 部

愛の讃歌

マルグリット・モノ／arr. 星出 尚志

スーパーカリフラジスティックエクスピアリドーシャス ロバート・シャーマン／arr. 星出 尚志

ディズニー好きの方々にはお馴染みの曲かもしれません。1964年に公開されたディズニー制作のミュージカル映画「メリー・ポピンズ」の中の楽曲の1つとして使われました。チム・チム・チェリーと並んで有名な人気曲もあります。

劇中ではメリー・ポピンズが競馬で勝利した後、レポーター達に取材でコメントを求められます。自分の気持ちをうまく説明できないときに、メリー・ポピンズは『ある単語』について歌い始めるのです。

「スーパーカリフラジスティックエクスピアリドーシャス! ただの音だけど、もし君が大声で言えたなら、君はいつだってとっても素敵でいられる」

この言葉自体はいろんな言葉を組み合わせた昔からの言葉そもそもや作者のでたらめな造語とも言われています。その後「何と表現して良いのかわからないほど素晴らしい」という意味の形容詞にもなりました。唱えると嬉しい気持ちになれる不思議な言葉。演奏に合わせて(隣のお席の方の邪魔にならないように!)口ずさんでみてはいかがでしょうか。

(B♭ Clarinet 志水玲子)

フランスのシャンソン歌手ディット・ピアフが1950年に発表した曲です。シャンソンを代表する名曲となり、後世の多くの有名歌手がカバーし日本でも長く愛されています。古くは越路吹雪、美輪明宏らが歌い、最近では2016年のNHK紅白歌合戦で大竹しのぶが長年主演を務める舞台『ピアフ』にちなみ、舞台ながらの歌唱を披露しました。

原曲の作詞はピアフ自身ですが、日本語で歌われるときには数種類の訳詞が存在しています。特に有名なのは、越路吹雪が歌つた「あなたの燃える手で あたしを抱きしめて」ではじまる岩谷時子の訳詞です。日本人向けに大胆な意訳が施されており、直情的でわかりやすい愛情表現で人気を博しました。それに対して原曲のピアフの詞では、たとえ空や大地が壊れてもあなたがいれば怖くないし、あなたが望めばどんなことでもするし、いつか死が訪れたとしても愛し合う二人だから二度と離れない。この世のあらゆる逆境に襲われたとしても愛を貫くのだと宣言するひとりの女性、つまりピアフ自身の強い意志を感じさせる歌詞になっています。世界観の異なるそれぞれの愛の讃歌。本日はその美しいメロディをお楽しみください。

(B♭ Clarinet 志水玲子)

ど演歌えきすぶれす

arr. 杉浦 邦弘

昭和を彩った演歌・歌謡曲の中から選ばれた全14曲ものメドレーです。いわゆる懐メロと呼ばれる懐かしの名曲ばかりなので、1フレーズ聞いただけで当時を思い出す方もいらっしゃるかもしれません。実は今回をきっかけに初めて知った曲もあるという団員ばかり。昭和後半～平成生まれの我々ではありますが、精いっぱい昭和の心をお届けします。

断片的に次々に曲が現れ、瞬く間に進んでいきます。前奏を聞いていたら…あれ? なんていうことも起きるかもしれませんのでご注意ください。もちろん聴きどころも盛りだくさんですので、どうぞお聴き逃しなさいませんように!

～ 兄弟仁義、涙の連絡船、天城越え、与作、青い山脈、旅の夜風、リンゴの唄、あの娘たずねて、函館の女、いつでも夢を、津軽海峡冬景色、氷雨、霧の摩周湖、雪のふるまちを ～

(B♭ Clarinet 志水玲子)

となりのトロ～コンサート・バンドのためのセレクション 久石 譲／arr. 後藤 洋

となりのトロは宮崎駿監督作品、スタジオジブリ映画の代表作の一つで1988年に公開されました。昭和30年代前半の埼玉県所沢市が舞台となっており、今でも愛され続けているファンタジーアニメーションです。

入院中の母のため、田舎に引っ越してきた草壁一家。引っ越してきた家はお化け屋敷のような一軒家でした。そこでサツキとメイ姉妹は古い家に住み着く丸くて黒いすすわたり(まくろくろすけ)、子どもの頃にしか出会うことができないと言われているトロ、とても大きく何本もある足で駆け回るネコバスなど不思議な生き物たちと出会い、2人が冒険していきます。

今回は映画の中から「さんぽ」「五月の村」「すすわたり」「風の通り道」「ねこバス」「となりのトロ」の6曲をメドレーでお送りいたします。メイのような元気あふれる曲から森のような神秘的でしつりした曲までお楽しみいただける編曲となっています。映画のシーンを思い出しながらお聞きください!

(Percussion 田中晴菜)

Oak Wind Symphony

☆：団内指揮者 ♪：パートリーダー

Conductor

榮 村 正 吾

Flute & Piccolo

♪ 荒 井 みちえ
石 塚 琳 子
大 熊 真悠子
小 林 みなほ
中 俣 美 幸

E♭ & B♭ Clarinet

☆ 井 上 正 人
岩 下 直 紀
酒 井 美 和
志 水 玲 子
♪ 高 島 百 合 野

Alto Saxophone

石 井 敬 子
井 上 宏 美
☆ 小 野 剛 司
木 村 真理江
♪ 長 島 央 和

Trumpet

阿 部 泰 子
井 上 知 佳
木 村 正 宏
上 妻 知 世
♪ 佐 々 木 結 衣

Tuba

五 十 巢 史 生
伊 藤 優 里
真 下 勝 実
貞 松 正 樹
佐 藤 容 子

Oboe & English Horn

池 田 茉 莉
大 植 め ぐ み
♪ 松 林 雄 一

竹 内 連

肥 野 匠 真
松 林 祥 代
松 宮 千 恵
八 田 海 佑

Tenor Saxophone

櫻 井 秋 来
西 野 笑 弥

Trombone

石 田 晶
♪ 草 勃 真 彩
高 渕 良 介
鈴 木 彩 織

Piano

小 石 由 紀 子

Bassoon

平 川 真 鈴
望 月 智 文

B♭ & Alto Clarinet

長 尾 麻 衣 子

Baritone Saxophone

河 合 由 葵
梅 村 幸 世
大 滝 夏 織
♪ 高 橋 研 介
田 中 美 紗 樹

Bass Trombone

石 毛 遥
川 口 莉 奈
田 辺 尊 信
♪ 松 谷 俊 介

Percussion

池 見 浩
鶴 飼 大
加 藤 結 香
☆ 志 水 栄 雄
田 中 晴 菜
♪ 田 中 祐 一
森 岡 紀 子

司 会

金 重 陽 平



団員募集について

◎ 募集条件

高校生以下不可（高校卒業見込の3月から可）

基本的に、ご自身で楽器を用意できる方（打楽器以外）

初心者の方は当団側で受入態勢を整えられない場合があります。

◎ 練習日 : 原則毎週土曜日夕方（本番前は追加練習あり）

◎ 練習場所 : 横浜市を中心とした公共施設

◎ 連絡先 : meet-oak@oakwindsymphony.sakura.ne.jp

各パートの募集状況はホームページをご覧ください





OAK WIND SYMPHONY

第38回定期演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございました。

今後の演奏活動の参考にさせていただきます。

よろしければ、下のQRコードからアンケートに
ご協力ください。

お手元のアンケート用紙をご利用いただく場合は、
お帰りの際に受付へお渡しください。

アンケート



1月8日(水)まで

主催：Oak Wind Symphony

後援：鎌倉市

第39回定期演奏会

日時：2020年5月24日（日）

14:30開場 15:00開演

場所：横浜市・都筑公会堂

♪ パガニーニの主題による狂詩曲

〈S.ラフマニノフ／森田一浩〉

♪ オリンピック特集 ほか

Twitter

第40回定期演奏会

日程：2020年12月27日（日）

場所：神奈川県立音楽堂



詳細が決まりましたらホームページ等でお知らせします。

Oak Wind Symphony公式Twitterでは演奏会のお知らせ
のほか、日常の出来事などを紹介しています。

ホームページ <http://oak-wind.sakura.ne.jp/oak/>

公式Twitter @oak_wind

